

愛産研

2010年12月号

食品工業技術センターニュース

今月の内容 ● トピックス
● 麴と麴菌

トピックス

●栽培しやすく、大吟醸に適した酒米の新品種を開発しました。

当センターは愛知県農業総合試験場と共同で、吟醸酒が醸造できる「高度精白適性」を持ち、栽培の安定性に優れる酒米の新品種「愛知酒 117 号」を開発しました。

本品種は、1.本県育成品種「若水」の栽培しやすさ、2.「山田錦」（酒米の全国シェア 1 位（約 30%））の優れた醸造特性及び、3.病害抵抗性を兼ね備えています。精米歩を 50%以下にできるため、愛知発の美味しい吟醸酒や大吟醸酒の原料になる新しい酒米として期待されています。

なお、この酒米は平成 22 年 12 月 13 日付けで、種苗法に基づく品種登録出願を行いました。平成 26 年度から一般栽培を開始し、平成 30 年度を目処に栽培面積 100ha（吟醸酒で約 420 キロリットル：1.8 リットル瓶で約 23 万本分相当）を見込んでいます。

詳細は下記 HP をご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/0000036963.html>

愛産研食品工業技術センターニュース （平成 22 年 12 月 15 日発行）

編集・発行

愛知県産業技術研究所食品工業技術センター

〒451-0083 名古屋市西区新福寺町 2-1-1 TEL 052-521-9316 FAX 052-532-5791

URL : <http://www.aichi-inst.jp/shokuhin/> E-mail: shokuhin@aichi-inst.jp